



# 奈良発のビジネスモデル・ビジネスパーソン 発掘・育成を目指す ～ビジコン奈良 2012～

「ビジコン奈良 2012」（主催：奈良県、共催：財団法人奈良県中小企業支援センター）は、奈良県内での起業を目指す新しいビジネスモデル・ビジネスパーソンを発掘しようとするもので、2011年9月の募集開始以降、数次の書類審査・プレゼンテーション審査を経て、2月11日、決勝大会が開催され、最優秀賞（知事賞）などが選出された。

応募対象者は、奈良県内での起業を目指す人、既に県内で事業を営む人（起業後5年以内）、既に事業を営み奈良県内への進出を目指す人などで、広く全国に向けて募集。211件の応募があった。

エントリーは、学生ベンチャーなど22歳以下の若者による「Under22部門」、奈良の地域資源を活用した「まほろば部門」、成長意欲が高い「ベンチャー部門」の3部門に分かれ、審査は、「新規・創造性」「市場性」「競争優位性」「成長・収益性」「実現可能性」のほか、部門特有の基準点が評価される。

決勝大会は、9人（組）のファイナリストで競われ、各部門のトップ賞として3名に各20万円が、さらにトップ賞3名の中から1名に最優秀賞（知事賞）20万円などが贈られた。

### ■各部門のトップ賞と受賞者

○「まほろば部門」（柏木英俊氏）※最優秀賞  
＜古民家宿泊型農村体験＞

奈良県下の山間部（宇陀市周辺）での古民家を利用した体験型農家民宿。電気・ガスの無い古民家宿泊を基本とし、宿泊者が薪や食料の調達を行うことで、過疎化が進む中山間地域の再生と都市生活者への癒しの提供を行う。新たな側面から付加価値を高めることにより農業と林業の再生に目標を置く。

○「Under22部門」（袴田直希氏）  
＜プロモーション連動型リアルソーシャルゲーム「Town Explorer（タウン エクスプローラー）」＞

プロモーション連動型のリアルソーシャルゲーム。バーチャル表示される広告付きアイコンを、現実空間で実際にプレイヤーが探し回り、規定数入手することで広告企業の新商品等が入手できる仕組



決勝大会には9人（組）が勝ち進んだ  
（写真提供：奈良県産業・雇用振興部工業振興課）

み。運用次第では、観光地の集客効果等が期待できる。

○「ベンチャー部門」（安部敏樹氏）  
＜リディラバ ～みんなが社会問題をツアーにして共有・発信するプラットフォーム～＞

「あなたの旅が社会を変える」をコンセプトに、ユーザー企画型の旅行のプラットフォームを用意し、そのプラットフォーム上で社会問題をテーマにした旅行が企画・実施される。

企画したツアーが最低催行人員数を上回るとその企画は実行され、ツアー後、各ユーザーのページでレポートや議論などが展開されることで、社会問題に関する多くの人々の意識の高まりが図られる。

### ■起業機運の醸成、起業家の発掘を図る

近年、奈良も含め全国的に、新しいビジネスモデルや新技術を持った新規開業の減少が経済沈滞の一因となっている。経済のグローバル化と共に、産業構造の転換が迫られる中、新規開業や既存企業の経営革新は経済活性化には欠かせない。

その中、今回の応募テーマでは、人口高齢化、ネット社会化等々、社会的なニーズの高まりに対応したものが多く、将来性が期待される。

県では、今後も、奈良から日本全国、そして世界へ発信できる企業の育成を目指すため、起業機運の醸成、起業家の発掘を図る「ビジコン奈良」を実施していく方向である。

（山城 満）